



## チャイニーズティーマスター 小田純也による世界中国茶紀行

### Vol.19 北京、幽静なる茶文化 第1部

今回は中国の首都・北京を舞台に、ユネスコより登録された世界文化遺産や歴史建造物の風景を交えながら、お茶事情についてご紹介します。(ユネスコ=国際連合教育科学文化機関)

中国茶の歴史は古く、遡ること遙か紀元前。  
悠久なる中国の歴史文化を理解することで、中国茶の学びにつなげていただければと思います。



中国北部(華北)に位置する北京では、古くからジャスミン茶が飲まれていました。茶の栽培地ではなかった北京に茶が持ち込まれ始めたのは、610年(隋王朝581-618)に完成した北京と杭州を南北に結ぶ「京杭大運河」によるもの。紀元前から長い年月をかけて人工的に造られた世界最大の京杭大運河は、全長約1,800km。それは日本列島の本州を上回る距離。

【京杭大運河=2014年 世界文化遺産 登録🌿】

(余談...かつて京杭大運河を通航した日本人がいました。平安時代[793-1185]から鎌倉時代[1185-1333]にかけての僧 栄西禅師[1141-1215]です。仏教の修行のため宋[960-1279]に二度渡った栄西禅師は茶の種子を日本に持ち帰り、「喫茶養生記」[1211]を著しました。“茶は養生の仙薬なり、延齡の妙術なり”で始まるこの書には、茶と健康に関することが具体的に記されていて、茶が一般に普及していなかった当時の日本人にとっては衝撃的だったことでしょう。京都梅尾の高山寺には日本最古の茶園の碑が建てられており、見学ができます。)



### 茉莉花開～ジャスミンの花開く～

#### 遙か遠い昔の物語

昔々、中国北部で茶業を営む茶商がいました。

ある時、茶商は茶の栽培が盛んな南の地方に旅に出ました。

朝早くから日が暮れるまで銘茶を探して訪ね歩きます。

そんなある日、茶商は宿で働く一人の少女と出会いました。何か悲しい思いを抱えている様子でした。

少女と話をしているうちに、茶商は少女の親が亡くなっていたことを知りました。

しかし、少女には葬儀をするお金がないことに気づいた茶商は、優しく声をかけ、お葬式をしてあげるよう、

少女にお金を渡しました。

.....

3年後の春、茶商は再び旅に出ました。そして偶然にも同じ宿に泊まりました。

茶商は宿の主人から、手のひらほどの包みを受け取ります。

お客様がまた訪れることがあったらお渡ししてほしいと、少女から預かっていたという。

旅を終え、自宅に戻った茶商は包みを開けてみます。

包みの中には茶葉が入っていました。茶好きの友人が訪ねてきたので、その茶を淹れてみると、

不思議なことに、白いジャスミンの花を持った少女が目の前に現れたのです。

驚いている茶商に向かって、友人は言いました。

「あなたは何か良いことをしましたね。これは報恩茶(恩返し茶)です」

茶商は、あの時の少女を思い出しました。

少女は既に亡くなっていると聞いていた茶商は、少女のメッセージに気づきました。

〈これまでずっと、私が探し求めていた銘茶とは・・・〉〈そうか！茶とジャスミンの花を混ぜると良いのだ〉

こうして、香り良いジャスミン茶が誕生しました。

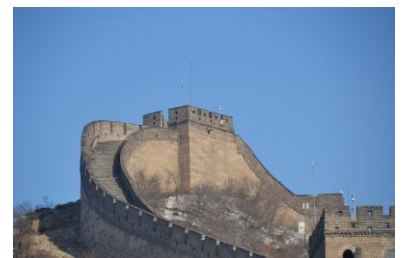
.....

## 万里の長城【1987年 世界文化遺産 登録🌿】

北京に到着した夜、「万里の長城に行きたい」と宿泊先のオーナーに相談をしたところ、「車もあるし時間もある身内がいるけど聞いてみましようか？」と。まさに“千載一遇のチャンス！” その場で交渉が成立し、直ちに準備をして出発しました。真夜中の旅は片道約80km、延々と伸びる直線の道、大陸は広い。

遂に、日がまだ昇らないうちに到着。夢にまで見た万里の長城は朝日が眩く、視界に収まりきれないほどのスケールは、まさに人類史上最大の歴史建造物、私の想像を遥かに超えた、実に壮観なものでした。

(万里の長城の建設は春秋戦国時代[紀元前 770-紀元前 221]に始まり、秦の始皇帝[紀元前 259-紀元前 210]によって一定規模になり、漢の時代[前漢 紀元前 206-紀元前 8/後漢 紀元前 25-紀元後 220]に距離が延長され、明の時代[1368-1644]に完成。春秋戦国時代とは約500年間続いた群雄割拠の時代。



当時は戦車[馬で牽く戦闘用の馬車]が交戦の主だったため、長期間の長距離移動は損失が大きく、攻め入られる側は高く幅広い城壁を築き備蓄した食料で籠城する対抗策をとっていました。7 大諸国[秦・趙・燕・斉・楚・韓・魏]は有事に備え、それぞれの国境に城壁を築きました。特に北部に位置する秦・趙・燕は、北方民族からの脅威にも備える必要があったため城壁の建設を強化していました。紀元前 221 年、秦が 6 ヶ国を平定。秦の始皇帝は、これまでの城壁[特に秦・趙・燕]を結びつけ、東西におよそ 5,000 kmに及ぶ秦の長城を建設しました。現在、万里の長城に圧倒されるスケールとは、距離、そして完成までに費やされた時間が創り出したものと言えるでしょう。)

明の時代に完成し、難攻不落と思われた万里の長城。

かつて明王朝の建国によって元王朝(1279-1368)は滅亡し、元王朝を築いたモンゴル族は北方へ撤退。モンゴル族が機を狙って再び南下してくることを警戒した明王朝は、万里の長城の修築に国力を注ぎました。

やがて時は経ち、モンゴル族に代わる新たな脅威となる民族が現れました。万里の長城の外、東北部の遼東[朝鮮半島とモンゴル高原の間に位置する、対モンゴルの最前線地域]に居住する女真族。分散していた女真族を統一するリーダーが現れたのです。

1618 年、女真族と明王朝の間に戦いが始まります。女真族はモンゴル族から正統な「大元伝国の璽」の献上を受けるほどの力を蓄えてきました。1635 年、女真族は満州族と改名。衰退する明王朝を機に、満州族は万里の長城を超えて南下し、首都(北京)に入り、1644 年、清王朝を建国。時代は明王朝(1368-1644)から清王朝(1644-1912)へ。【大元伝国の璽とは…代々受け継がれてきた印】

清王朝の宮廷では、満州族と漢民族の食文化を融合した豪華な「満漢全席」が誕生しました。

(女真族とは農耕ベースの狩猟民族で、古くから遊牧民族のモンゴル族とは相互利益の交易を行い密接な関係にありました。つまり清王朝の建国は、3つの言語が飛び交う、女真族とモンゴル族、そして明王朝の滅亡によって加わった漢民族によって成り立っています。現在、箸で食べるのが基本の中国料理ですが、ナイフ・フォークと箸を縦向きに並べて手元に置くことは日本料理との大きな違い。これは大草原を駆け抜け、肉食中心の遊牧民族の食文化の影響によるものと考えられています。[モンゴル族が身につける“蒙古刀”には箸とナイフが鞘に納まっている])

## 胡同、北京の古き良き街並みをご紹介します



古色蒼然たる瓦屋根、まるで映画のロケ地に迷い込んだかのような雰囲気の街並み。【胡同(フートン) = 路地の意】


(清王朝建国時に北京に移住してきた満州族の官舎街[首都防衛の任務]。紫禁城の周辺に位置しています。胡同はモンゴル語のグドゥムが語源)

清の時代の面影を残す胡同は煉瓦造りの建物(平屋)が立ち並び、土地勘がなければ迷子になりそうな細い路地。

これは『四合院』と呼ばれる伝統的な建築様式で、長方形の区画に、四角い庭を囲んで四方(東西南北)に四棟の建物で構成される四角い造りの住宅です。

煉瓦の壁に囲まれた建物に窓はなく、外と通じているのは一つの門のみ。似たような建物が並びますが、それぞれの門に違いがあります。中国風の伝統的な扉飾りや趣のある取っ手、赤い門や黒い門など様々です。外の世界と遮断された環境ゆえに静かに暮らせるといえます。観光スポットというよりは、今なお北京に暮らす人々が生活をしている住居のため、私は三輪タクシーで速やかに散策をしました。

皆様も北京を訪れた際には、是非、立ち寄ってみてはいかがでしょうか。

(撮影/文 小田純也 )

》北京、幽静なる茶文化 第2部に続く

## 中国料理 香桃

レストランのご予約・お問い合わせ

TEL 06-6343-7020 (直通)

[rc.osarz.restaurant.rsv@ritzcarlton.com](mailto:rc.osarz.restaurant.rsv@ritzcarlton.com)

ザ・リッツ・カールトン大阪

〒530-0001 大阪市北区梅田2丁目5番25号

北京、幽静なる茶文化 第1部

### 参考文献

- 中国史 上・下 富谷至 森田憲司編 2016年2月10日 昭和堂  
ヌルハチ 小前亮著 2023年11月15日 講談社  
中国人物伝 明・清・近現代 井波律子著 2014年12月 岩波書店  
中国王朝四〇〇〇年史 渡邊義浩監修 2012年12月 新人物往来社  
清朝とは何か 岡田英弘編 2009年5月 藤原書店  
長城の中国史 阪倉篤秀著 2004年1月11日 講談社選書メチエ  
北京の歴史 新宮学著 2023年9月13日 筑摩選書  
中国中学生の教科書 小島普治監訳 2001年11月1日 明石出版  
蒼穹の昴 上・下 浅田次郎著 1996年4月 講談社  
中国茶・五感の世界 孔令敬著 2002年12月26日 日本放送出版協会  
栄西 中尾良信 瀧瀬尚純著 2017年6月7日 創元社  
栄西の生涯 ひろ さちや原作 1995年6月1日 すずき出版  
中国名茶紀行 布目潮風著 1991年4月15日 新潮選書  
やさしい中国茶のほん 劉艾著 2008年5月12日 メディア・ポート  
孫子の兵法 上・下 鄭飛石著 1991年4月10日 光文社  
秦の始皇帝 鄭飛石著 1995年4月1日 光文社  
茶芸師-初級技能 中級技能 高級技能 2004年 中国労働社会保障出版社  
中国就業培訓技術指導センター・労働社会保障部組織/主編  
茶芸師-基礎知識 2003年 中国労働社会保障出版社  
中国就業培訓技術指導センター・労働社会保障部組織/主編